

平成 26 年度学内教育 GP プログラム事業経費 成果報告書

区 分	継続型
事業名称	学生主体の新しい学士課程の創成 -21 世紀型リベラルアーツと複数プログラム選択型専門教育- のうち、24 時間利用できる授業・学修支援システムの整備と定着
取組代表者名 担当者名	取組代表者名：半田智久（教育開発センター・教授） 事業実施担当者：石田千晃（教育開発センター・特任講師） 岩崎愛（教育開発センター・アカデミック・アシスタント）

1. 成果の概要

実施した事業の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、当初設定した目的・目標に照らし、3 ページ以内で、できるだけ分かりやすく記述すること。必要に応じ、図表を用いても構いません。

本学では、オープンソースの CMS、Plone を本学教育開発センターがカスタマイズし、学修支援システムやセンター系業務の情報共有サイトとして活用している。学修支援 Plone に関しては、2015 年度前学期だけで 89 授業が利用しており、後学期もほぼ同数の授業の利用が見込まれていることから、1 年を通じて 83 授業が利用した 2014 年度より 1.5 倍～2 倍相当の利用が見込まれている。学修支援用の Plone は、申し込み制で、利用申し込みがあった教員の授業サイトを、プログラムを使い生成させる作業が発生する。そのため、本事業で IT スキルの高いアカデミック・アシスタント（岩崎）を採用し、上記のようなサイト生成作業といった Plone の管理運營業務の一部を任せている。特に学期初めの業務量は非常に多く複雑であるため、コンピュータを使い手早く作業する能力が求められる。また、業務には基本的なアプリケーション活用スキルだけでなく、データベースの概念やプログラムの実行スキルなどの知識が必要とされる。本事業で採用した岩崎は、本学情報科学コースの院生で高い IT スキルを有しているため、問題なく対応できている。さらに、業務では、教員、学生からの問い合わせに細やかに対応する必要があるが、岩崎は、Plone の構造をよく理解し、作業内容を的確に判断することができるだけでなく、仕事に必要なコミュニケーションのマナーも有しているため、Plone を利用している教員と良好な関係を築きながら問題なく業務を遂行することができている。Plone は箱形のシステム提供ではなく、それぞれの教員のニーズを聴取しながらカスタマイズしたオンライン空間を提供することに意味・意義があるため、利用者との円滑なコミュニケーションを行うことは業務の肝といっても過言ではなく、岩崎の IT 能力のみならず、メール等を介した丁寧なコミュニケーション能力によっても、多くの業務がカバーされている。

既に本学で利用している Plone に関しては使い方をマニュアル化し、お茶大 E-book サービスにて公開している。しかし、利用者のニーズに沿って新しいプロダクトをリリースする機会も少なくない。本年度は反転学習のためのクイズプロダクトをリリースしたため、このプロダクトの使い方をマニュアル化する作業が生じた。（今後、利用教員への個別支援を行う可能性もある）また、グローバル人材育成推進センターで利用されている Plone に関しても、人材バンクに係る新しいプロダクトを導入する予定をしており、職員へのインストラクショ

ンや支援業務が発生することが見込まれている。

授業サイトの初期生成作業や自己登録制データの処理などは、管理者権限でシステムを動かす部分となるため、引き続き、事業担当者と岩崎の二人体制で行う必要がある。今後も、どちらか一人に不慮の事態が起こった場合でもシステムが問題なく動くよう、常に複数体制で管理を行うことがのぞましいと考えている。

2. 今後の取組み継続に係る実施体制及び資金確保の状況について

本経費は、学外の競争的資金等によるプロジェクトで、プロジェクト実施期間終了後も引き続き取組みを継続するための体制を整備するために配分されたものです。本経費の支援期間終了後の実施体制及び資金確保の状況について記述してください。

現在のところ、プロジェクト期間終了後に引き続き取組みを継続する体制はまだ整っていない状況である。これは、本学で Plone を学修支援のシステムやセンター系の情報共有サイトとして、「継続して利用していくか否か」についてのディシジョンメイキングがまだなされていないため、大学上層部の判断を待つ必要がある。

本学で引き続き Plone を学修支援およびセンター系業務支援に利用していく決定がなされれば、複数人による安定的なシステム運用を確保するための体制を整える必要があり、利用授業や利用センターの増加に伴い、作業補助者の作業時間増加も視野に入れていく必要があると考えている。